

公園を美しく～花を植栽 石渡区8常会の「いこいの会」



石渡区8常会のボランティアグループ「いこいの会」はこのほど、長野運動公園陸上競技場近くの常会内の公園にある花壇に、マリーゴールドや日日草の苗96本を植えました。すでに咲いているユリと合わせ、美しい光景を楽しめます。

作業には50代から90代の会員16人が参加して、約2時間かけて植栽や花壇の周辺の草取りをしました。

「いこいの会」は、荒れた公園に花を植えて地域の人が集まるよりどころにしようと、5年前に有志で発足しました。地域の人々が大勢集まって互いに顔の見える関係をつくれば災害の時など、支え合い助け合うことができると、毎年、花の植栽だけでなく、スズムシの配布会や住民交流会も開いています。

新型コロナウイルスの感染防止のために家に閉じこもりがちですが、感染防止対策をした上で、外出して気分転換を図ることも大切です。

倉沢利夫会長は「訪れて花を楽しみ、心を癒やしてほしい」と話しています。

（石渡・住吉誠・78歳）